# 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1	事業者等	の概要
---	------	-----

1 事業有時的院女											
氏名又は名称			株式	大会社中/	川電機製作	作所					
代表者名	氏	:名	中川正人 役職名 代表取締				·····································				
主たる事務所 の所在地			長野	県佐久市	i中込3156	番地					
主たる事業	大分	分類	E 製造業								
の分類	中分	分類		29 電	気機械器。	具製造業					
主たる事業の概要	製	所圧配電盤及びキュービクル、低圧配電盤、低圧分電盤及び各種制御盤の設計から 操作及び納入後のアフターサービス。 ・種装置の精密部品加工。									
		条例第12条第1	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者								
制度に該当する		条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者									
要件		条例第12条第1	条例第12条第1項第2号に該当する事業者								
		上記以外(任法	上記以外(任意提出)の事業者								
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年	度報告	第二年度報告	第三年度報告				
原油換算エネル ギー使用量	kl	51. 92	50. 20								
エネルキー 一起源二酸 化炭素排出量	t- CO <sub>2</sub>	106. 68									
調整後 排出量	t- CO <sub>2</sub>	106. 68	102.00								
その他ガス 排出量合計	t- CO <sub>2</sub>										
自動車の台数 台		2									
自動車からの 排気ガス合計	t- CO <sub>2</sub>										
2 基準年度、	計画	期間及び報告対	     象年度								

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度~	2025	年度
報告対象 年度		年度					

3 計画書(報告書)の公表方法等

ホームページ	株式会社中川電機製作所 本社管理課
	体氏会社中川电機製作別 本任官 连課 TEL 0267-62-0910 当社営業日の9:00~16:00
その他	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1

### 4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

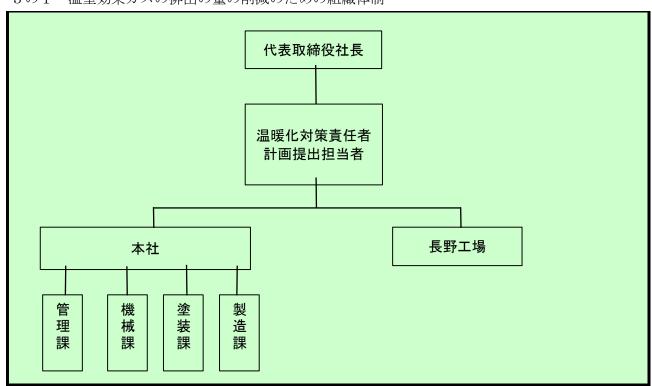
現代社会に欠くことの出来ない電気エネルギーを安全で便利に使用できる電気制御システムの提供では、新エネルギー、省エネルギー機器を取り入れた環境配慮製品の製造を行い温室効果ガスの抑制に貢献する。

生産過程で発生する温室効果ガスの基となる・電力・灯油の使用量を把握し、削減に向け省エネ効率の良い設備への置換えや製作工法の見直しを行い、環境に配慮した事業活動を行うことにより天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された循環型社会の構築に貢献する。

#### 2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	無	目標年度		年度	削減目標		
削減計画 の概要	点を変		<b>\</b> アイデ	アを取り入れ	Pり方が通用 ル、前例にとい		
イニシアチブ 参画状況		SBT 🗆	RE100	ロ 再エス RE Ac	入100宣言 tion	その他	

#### 5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



# 5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

環境マネジメント推進会議(毎月及び必要の都度)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の1 エス	1717	于一起源 <sub>一</sub> 酸化炭素	名りが山り里り	/ 日リ//吹 (〜	体の日保及い天脳	₹	
基 準 年	度	基準排出量	106. 68	t-CO <sub>2</sub>	鋼材使用量	36. 92	単位 万 t
2022 年月	变	調整後排出量	106. 68	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	2. 89	t-CO <sub>2</sub> / 万 t
目標年	度	目標排出量 (調整後排出量)	102. 00	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	2.85	t-CO <sub>2</sub> / 万 t
2025 年月	变	目標削減率	4. 38	%	目標削減率	1. 50	%
目標設定に関する説明		・省エネ効率の大き ・主要生産機器の電 ・暖房効率を向上さ う。	電力量を監視し	使用電		丁油の使用量	を削減す
第一年度		排出量		t-CO <sub>2</sub>	鋼材使用量		単位
第一年度 		削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2023 年月	ŧ-	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
2023 +15	芝	削減率		%			
排出量等 <i>0</i> 増減理由	)						
第二年度		排出量		t-CO <sub>2</sub>	鋼材使用量		単位
7/		削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2024 年月	安	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
2021		削減率		%			
排出量等 <i>0</i> 増減理由							
第三年度		排出量		t-CO <sub>2</sub>	鋼材使用量		単位
カー十尺 		削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2025 年月	+	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	又	削減率		%			
目標の達成 況及び排出 の増減理由	量						

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	温室効果ガスの排出の量の削減に位 t-CO <sub>2</sub>	単位
2022 年度	調整後排出量	t-CO <sub>2</sub> 基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度	目標排出量	t-CO₂ 目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に 関する説明			
第一年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	単位
77 1/2	削減率	% 原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2023 年度	調整後排出量	t-CO <sub>2</sub> 原単位削減率	%
2020 中/文	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	単位
<b>州一</b> 十区	削減率	% 原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2024 年度	調整後排出量	t-CO <sub>2</sub> 原単位削減率	%
2024	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第三年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	単位
<b>另二</b> 十戌	削減率	% 原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度	調整後排出量	t-CO <sub>2</sub> 原単位削減率	%
2020	削減率	%	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の3 自動車	の使用に伴う二酸化炭	素の排出の量の削減に	1係る目標及び実績	
基 準 年 度		t-CO <sub>2</sub>		単位
2022 年度	調整後排出量	t $t$ $t$ $t$ $t$ $t$ $t$ $t$ $t$ $t$	基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目 標 年 度	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度	目標削減率	%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明				
第一年度	排出量	t-C0 <sub>2</sub>		単位
<b>分</b> 十尺	調整後排出量	t CO <sub>2</sub>	原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2023 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第二年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>		単位
<b>初二</b> 干及	調整後排出量	C CO2	原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2024 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第三年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>		単位
カー下区	調整後排出量	t CO2	原単位	t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度	削減率	%	原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由				

# 7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ι ~ Ⅱ —	I -1	燃料使用量等の定 期的な把握						
	I -2	エコドライブの励 行						
Ш	∭-1	次世代自動車の導 入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

# 8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

			WO LEAD ON THE AND THE		計画		状況
番号	区分	設備等	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	照明設備	LED/L	2023~ 2024	1		
2	エネ起	空調機	省エネ効率の大きな機器への更新	2023~ 2025	2		
3	エネ起	一般管理事項	エネルギー使用量の把握による抑制	2023~ 2025	1		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

# 9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	50	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			-

# 10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
Jークレジット	t-CO <sub>2</sub> /年					
県が認証したクレジット (森林CO <sub>2</sub> 吸収評価認証制度等)	t-CO <sub>2</sub> /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	28. 35	30.00			
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

# 11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネル ギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	2	106. 68						
合計	2	106. 68						

# 12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-CO_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
$N_2O$				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
$NF_3$				
合計				

# 13 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	2			
次世代自動車導入 割合				

#### 14 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	無し
自 転 車の利用促進	半径5km圏内の社員に対して、自転車通勤依頼の声掛け運動。
来客者の交通対策 / 社 用 車 等 の 移 動 に 伴う 取 組	訪問時の車両台数削減の要請。
電気自動車用充電 設 備 の 設 置 /電気自動車の導入	無し
物流の合理化	梱包の軽量化による輸送重量低減によるCO2削減。混載便による納品で輸送時のCO2削減。停車中のアイドリングストップ要請。

## 15 環境配慮活動状況

10	<b>永先</b> 品总旧					
環境配慮活動		活動内容の詳細				
		実施内容				
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している				
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している				
	□ 環境マネジメントシス	環境マネジメントシステムを導入している				
テム	テム	名称				
	グリーンボンド・ESG 投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している				
	ZEB	の認証を取得している				
	ディマンド・リスポン ス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置(上げDR・下げDR)を実施している				
	その他					

- 16 自由記載欄(特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)
  ・2012(平成24)年本社工場:15kWレシプロ式コンプレッサーを多段式コンプレッサーに更新、レシーバータンクを増設しコンプレッサー運転停止改善を行い電力消費を約80%低減。
  ・2015(平成27)年本社工場:照明蛍光管40W/118本、水銀灯HF250W/28台、水銀灯HF400W/28台をLED化
- ・2021(令和3)年本社工場:高効率変圧器に更新